

西大和団地50周年にあたり

西大和団地自治会会長 萩原 尚

西大和団地は昭和40年一レイクの一部にベトナム4月から入居が始まり、一部の建物を除き、今年50周年を迎えます。

当時は大変倍率の高い抽選に受かってから入店できた公団住宅でしたが、この団地が出来た背景と当時の社会状況について次の通り記載します。

太平洋戦争直後の昭和20年、和光市・朝霞市・新座市・練馬区にあつた陸軍予科士官学校と被服廠を進駐軍が上級し、キャンプドレイクと呼称しました。その後昭和25年6月に朝鮮戦争、昭和39年にベトナム戦争が勃発し、朝霞市にあつたキャンプド

野戦病院が開設されました。ベトナムからの負傷兵が毎日のようにヘリコプターで運ばれてきて、当時騒音が大きな社会問題となりました。

昭和30年6月 朝霞キャンプの一部(42万m²)が、理化学研究所・八戸住宅・小中学校用地のために返還され、西大和団地の工事が着工されました。昭和40年4月1日から年内にかけて入居したことに

より、当時の大和町の人口は一躍3千人もの増加となりました。

西大和団地のオーブンと共に、大和町駅前から西大和団地の間に東武バ

スが運行されるようになります。団地住民にとつては、通勤時間帯のみの運行でしたが、生活するには大変便利でした。

団地の開設当初、現在の樹林公園東側にはモモ

テハイツがあり、高さ2mほどの金網越しに広がる芝生とそこで遊ぶ諸外

国の子供たちがいて、現市庁舎の場所にはパン工

場があり、団地内にパン

の焼ける匂いがたち込め

ていました。団地東側の外環道が出来るまでは、

小高い丘があり子ども達がスロープを滑り降りて遊びまわっていました。

平成2年、7階建ての第2西大和団地(84戸)

が完成、平成6年にはデュ

プレ西大和団地が完成、西大和団地は総戸数1579戸の団地となりまし

た。今年8月頃から「ひろさわ保育園」「消防署跡地」「しまむら駐車場北側空地」に「ひろさわ保育園」を1階に取りこんだ11階建て「新建筑物」の工事が着工されます。

平成27年3月この「新建築」第一期工事が完成後、現状の団地再生のため、既設団地の一部建替え工事がスタートします。

現在の建物のほとんどは低層5階建てですが、今後10～15年間で11階建ての高層住宅となる予定です。(現状の団地の約1／3の建物、17棟459戸対象)

50周年にあたり、自治会もより一層住民の皆さんが明るく住みよい西大和団地となるよう、活動していきたいと思います。